

	号外	定価 1部2円	No.号外4 2019年 12月13日	保健所(環境)・環境 保研課題は初交 渉。多くが継続課 題。交渉結果を共 有し、次の取り組 みにつなげよう。
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合		

2019評協議会交渉④ 12.12保健所(環境)・環境保研関係・環境生活企画室長交渉

「できるところ」から改善も多くが継続課題 薬剤師 処遇改善は最大課題示すも継続検討 職員配置 食肉衛生検査所は定数増要求/各職場もできる限り専門職複数配置

県職労保健所協議会及び環境保健研究センター一分会では、来年度の組織・定数要求や職場環境改善等を柱とする、環境生活部長あて要請書を作成し、12月12日に小島環境生活企画室長に手交のうえ、基本姿勢を質すべく交渉を行った。結果は次のとおり。



小島室長(右)に要請書を手交(宮手中執)



実態を訴える交渉団

【交渉結果】専門職職員配置に関し、「薬剤師、獣医師、総合化学等の専門職配置は、総務部に技術継承の観点で必要と説明し、理解を得ている。対応が可能なものは早期

に対応できるよう努力」、「薬剤師は退職者補充をし、配置も保健福祉部と連携して総務部に要求」、「保健所獣医師は、動物愛護などの行政需要に応じて配置を配慮。食肉衛生検査所は定数増を要求」との姿勢を示した。回答として具体を欠いていたことから、欠員解消、薬剤師の慢性的な不足、環境保研の医療ビックデータ業務の増に対応した配置を強く求めた。

人材育成に関し、「保健所にはできる限り同一職を複数人配置し、ジョブローテーションを重視。バランスを考慮して配置に努める」とした。獣医師・薬剤師の処遇改善は「薬剤師は東北6県の状況を見て検討」「獣医師は給料の調整数の導入を総務部に要求中」としたが、薬剤師の処遇確保の姿勢が十分でないことから、早急対応を求めた。勤務環境改善(突発対応時の負担軽減、環境保研試験機器類の更新)も継続課題となった。

環境生活部から現状の基本姿勢を引き出すも、増員や具体的改善策まで示されず課題が山積したまま。小島室長から、「薬剤師の処遇が最重要課題。全体的な体制検討が必要。その他の課題も『できるところ』から改善に取り組む」とし、継続課題とした。引き続き、課題を集約し、改善を求めていく(主な交渉結果は裏面)。



回答する小島室長

1 環境生活部の専門職配置の基本的考え

(県 職 労) 総合化学 (特に食品衛生監視員資格者)、獣医師、薬剤師のほか、環境保健研究センターの専門職配置の改善を求めるが、基本姿勢は。(管理課長) 専門職配置は過去の採用抑制もあり全庁的課題。体制確保や技術の伝承などの課題もあり、総務部も認識している。対応可能なものは早期に対応する。どのように有効に配置できるか検討。

(県 職 労) 具体的な獣医師、薬剤師、食品衛生監視員の配置の在り方は。

(管理課長) 薬剤師は定年退職者もあり補充する必要、保健福祉部と連携して人員配置を人事課に要望中。獣医師は保健所では動物愛護の業務も増加しており、各保健所の行政需要に応じて配慮。食肉衛生検査所は検査体制強化のため定数増を要求中。総合化学、特に食品衛生監視員資格者が少ないことは課題と認識。採用募集時にPRを含めて学生にアピールしていく。

(県 職 労) 環境保健研究センターは欠員もあるほか、医療ビッグデータの対応等の新たな課題も。欠員解消はもとより、しっかり組織定数要求をしていただきたい。また、環境保健研究センターの検査分析業務の信頼性保証の体制強化も。薬剤師は処遇改善を含めた大幅増の対策も待ったなしの課題。



改善求める宮手中執



回答する前田管理課長 (左)

2 職員の人材育成策

(管理課長) 保健所にはできるだけ同一職種を複数人配置し、ジョブローテーションの実施、専門研修の受講などでOJT等の取り組みを進めている。異動のローテーションにも配慮し、経験、職種のバランスも考慮している。ベテランと若手を配置し、技術伝承できるよう取り組む。

3 獣医師・薬剤師の処遇改善

(県 職 労) 獣医師、薬剤師の人員確保には処遇改善も必要となる。対策を要請したい。

(管理課長) 行政薬剤師として他県均衡を考慮して必要に応じて検討。獣医師は奨学金支援のほか、更なる体制強化のため給料の調整額の創設を農林水産部と連携して総務部に要請中。

(県 職 労) 薬剤師と獣医師の資格取得には同程度の経費 (大学の学費等) を要する。薬剤師でも獣医師同様に奨学金への手当を創設するよう特に要請したい。

(管理課長) 薬剤師の一層の確保に向け、若手の薬剤師の意見を聞いて確保策として適切か研究する。

4 各保健所の執務環境改善

(県 職 労) 動物愛護や鳥獣保護等で土休日の対応が多く負担が大きく、改善を。また公用車配備を。

(管理課長) 動物愛護は保健所だけで限界であり関係機関との連携も必要。動物愛護センター (仮称) 整備の調整をしており、整備されれば負担軽減も見込まれる。公用車配備は計画的な更新に努める。

(県 職 労) 動物愛護センターができて全県の対応は難しいと思料。負担軽減策を考えて欲しい。

5 環境保健研究センターの執務環境改善

(県 職 労) 環境保健研究センターの検査機器類の更新・新規設備整備を。

(管理課長) 先進的な研究を進める必要も認識するが、機器類の更新は県民の安全確保や緊急性の観点から判断。センターの方針や計画を踏まえて進めていく考え。

(県 職 労) 公立の研究機関としての存在意義が問われる。新業務、研究に対応した配備を要請する。